

<研究課題名>	D-0910 (自然-05)	福井県三方湖の自然再生に向けたウナギとコイ科魚類を指標とした総合的環境研究		
<研究概要> 自然再生のシンボルとなりうる指標魚類（ウナギとコイ科魚類）とそれが指標する生物多様性の再生のために、どのような環境要因や社会科学的要因を修復する必要性が高いかを明らかにする。さらに、修復の具体的方策を試験的に実施してその効果を科学的に評価する。それらの目標を達成するため、以下のサブテーマ研究を実施する。 (1) シンボル種魚類の再生に必要な生息環境の検討 ウナギやコイ科魚類の生息場所としての三方湖の水環境を評価し、どのような環境を優先的に再生する必要があるかを明らかにする。 (2) シンボル種魚類の再生に必要な水系連結の再構築研究 近年の水田圃場整備や河川整備により失われた湖と水路や水田の連結を、水田魚道や堰上げ水路などにより試験的に再構築し、水系連結の再生に必要な要因の評価と再生効果の予備的評価を行う。 (3) 水系連結の改変とシンボル種魚類への影響の長期的変遷：社会科学的復元 聞き取り調査などの社会科学的手法を用いて、水系連結と魚類の長期的変遷を明らかにする。 (4) 協働参加型調査による環境変化と水系連結喪失の影響評価 環境変化や水系連結の喪失が魚類のみならず多様な生物相に与える影響を評価する。地域の多様な主体が環境の現状を知り自然再生の具体的イメージを持って考える契機となるよう、協働参加型の調査や分析を行う。 (5) 研究総括 以上の研究から得られた成果を統合し、三方湖水辺生態系の総合的な解析を行うとともに、自然再生の方策を行政に提案する。地域全体が自然再生に向かうような機運の上昇にも努め、自然再生協議会が現地で立ち上げられるよう、情報交換の場を整備して提供する。				
<研究代表者>		吉田丈人		東京大学・総合文化研究科・准教授
No.	サブテーマ名		氏名	所属機関名・部局・役職名
(1)	シンボル種魚類の再生に必要な生息環境の検討	◎	吉田 丈人 青海 忠久 富永 修 坊 栄二 久保 光	東京大学・総合文化研究科・准教授 福井県立大学・生物資源学部・教授 福井県立大学・生物資源学部・教授 福井県衛生環境研究センター・環境部・環境部長 福井県雪対策・建設技術研究所・環境・建設技術研究G・研究員
(2)	シンボル種魚類の再生に必要な水系連結の再構築研究	○	多田 雅充 小北 智之	福井県海浜自然センター・所長 福井県立大学・生物資源学部・講師
(3)	水系連結の改変とシンボル種魚類への影響の長期的変遷：社会科学的復元	○	菅 豊 柴崎 亮介	東京大学・東洋文化研究所・教授 東京大学・空間情報科学研究センター・センター長・教授
(4)	協働参加型調査による環境変化と水系連結喪失の影響評価	○	鷺谷 いづみ	東京大学・農学生命科学研究科・教授
(5)	研究総括	◎	吉田 丈人	東京大学・総合文化研究科・准教授

D-0910 福井県三方湖の自然再生に向けたウナギとコイ科魚類を指標とした総合的環境研究

